

横山幸次

区政報告
ニュース

369

2009年12月13日
発行 日本共産党区議団
3802-4627
fax3806-9246
E-mail: arajcp@tcn-
catv.ne.jp
町屋相談室
荒川区町屋5-3-5
3895-0504

横山幸次区議のホームページをご覧ください。
「横山区議」で検索して下さい。

「小1不応」問題の対応策は…(都調査) 「教員の加配」 「少人数学級」が決め手か

「小学校第1学年の児童の不応状況」の定義

第1学年の学級において、入学後の落ち着いた状態がいつまでも解消されず、教師の話を聞かない、指示通りに行動しない、勝手に授業中に教室の中を立ち歩いたり教室から出て行ったりするなど、授業規律が成立しない状態へと拡大し、こうした状態が数ヶ月にわたって継続する状態をいう。(東京都教育委員会ホームページから転載)

公立小学校第1学年の児童の実態調査から引用 (東京都教育委員会)

不応状況が発生した学級の児童数	一学級児童数別の学級数の割合	20人以下	20人以下
20人以下	0.6%	20人以下	6.0%
21人以上25人以下	11.5%	21人以上25人以下	11.5%
25人以上30人以下	21.0%	25人以上30人以下	24.1%
31人以上35人以下	38.2%	31人以上35人以下	31.7%
35人以上40人以下	26.5%	35人以上40人以下	25.6%
41人以上	0.6%	41人以上	1.1%
無回答	2.6%		

区も「算数数学大好き事業」と銘打って低学年に補助教員を配置してきました。



いわゆる小学1年など中心に「学級崩壊」が大きな問題になってきました。日本共産党区議団は、30人学級の実現と当面、小学校低学年の少人数学級編成を求めています。また、その対策として、校長の61%、教諭の81%が、1学級の人数縮小を求め

ています(左表参照)。都議会の答弁で都教育長は「教員の加配と活用」を検討し少人数学級も可能とする対策を検討する意向を明らかにしたようです。一歩前進です。荒川区では、統廃合や学校選択などで普通教室が不足する学校も、30人学級は当然の流れです。一刻も早くそれに向けた環境整備が急がれます。

対策	割合	
	校長	教諭
学級担任の補助となる指導員等の配置	81.4%	81.0%
1学級の人数の縮小	63.5%	80.7%
保護者の協力体制の確立	56.6%	59.6%
学級担任の指導力の向上に関わる研修	52.0%	33.0%
学校における組織的な協力体制の構築	45.9%	55.4%

年末風景…国民のくらしがたいへんとき 町屋駅頭「なんでも相談会」宣伝で社会的連帯を

まわりの話題あれこれ

昨年を思い返すと、「派遣切り」「派遣村」が大きな社会問題になりました。貧困問題が社会の表面に「可視化」され「貧困」の解消が政治の課題として突きつけられるという、一大エポックとなりました。さて、今年はどうなるでしょうか。「正規雇用が当たり前」の社会をつくる問題など政治の仕事が急がれます。同時に、今困っている方々に手をさしのべることも必要です。今年も全国で街頭相談などが行われていますが、荒川区でも各団体共同の「何でも相談会」が9日に行われました。会場となった荒川民主商工会会館の1階には多くの相談者が訪れたよう



何でも相談会のお知らせ宣伝にて(横山)

みなさんのご意見をお寄せ下さい!

定例法律相談

新年の相談日は...

1月 12日(火)
に変更します。

午後6時～8時
横山区議事務所

弁護士と横山区議が相談をお受けします。秘密は厳守します。お急ぎの場合は、北千住法律事務所の相談日などご紹介しますので、お気軽にご連絡ください。
TEL&FAX 3895-0504
不在時は、留守電へ、後で連絡します。

スポーツセンター「食堂」問題で区が調査報告 「又貸し」の事実を区も確認…



区民の財産を貸し出した結果の「不始末」…
指定管理含め区の責任があらためて問われています

4日の区議会文教・子育て支援委員会に「荒川総合スポーツセンター内食堂」について「(有)朝日屋」が又貸しなど行っていた事実を認める報告書を提出しました。

それによると…

行政財産の貸し付けでスポーツセンター内の食堂をはじめた「朝日屋」は、3ヶ月後に「他の者への転貸の禁止」に反し、K氏に又貸しした。(K氏が賃料を「朝日屋」に払う)

「朝日屋」は、K氏が以前から行っていた「屋形船の仕出し」を食堂内の厨房を使って行うことをもちかけた。

その条件通り、区の施設を使って

「屋形船の仕出し」

調理が行われていた。… などです。

区の施設が契約以外の営利目的に使われるなど異常な事態です。

区は、口裏合わせがあったが発見できなかったと言っています。そうでしょうが、スポーツセンターも「指定管理者」に管理も運営も全て任せています。

区民の大事な施設でありあらためて区の管理責任が問われます。



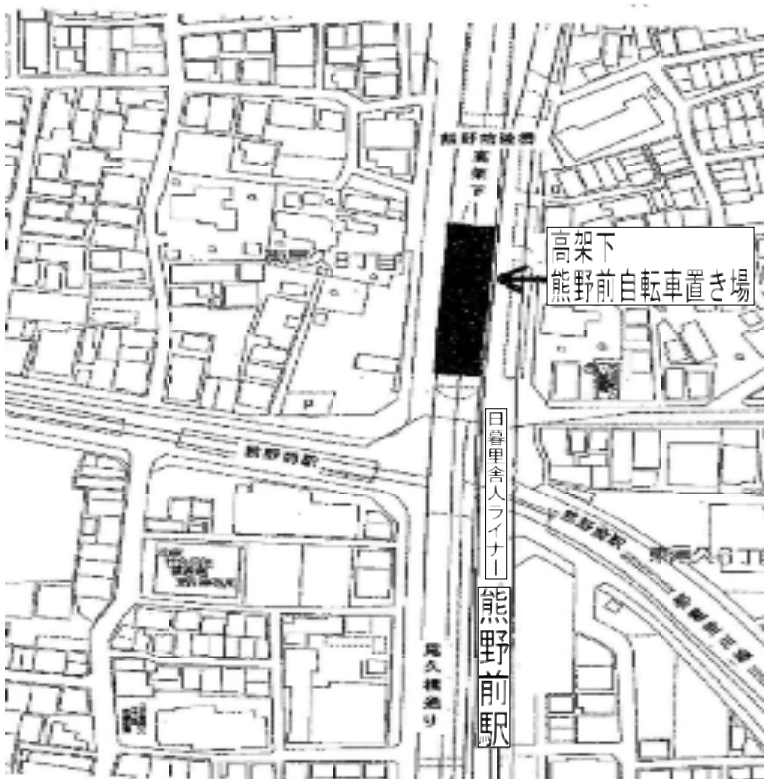
「食堂スペース」の活用は区の利用者アンケートでは、食堂1%、キッズルーム(子どもが自由に利用できるスポーツ遊具など)41%などの結果。区としては、今後子どもの体力低下に対応する、スポーツ施設として拡充するとしています。

大事な点ですが、指定管理者まかせでなく区の責任での充実が求められます。

《お知らせコーナー》

来年4月から熊野前に無料・自転車一時置き場ができます

来年4月から、熊野前にある自転車の「定期利用置場」を無料の一時置き場になります。周辺には、都電、日舎ラーナの駅もありますが、自転車を置く場所がありません。区は、高架下に定期利用置場をつくりましたが、いつも空きばかりが目立っていました。日本共産党区議団は、こうした場所を無料の一時置き場にして放置自転車をなくすために利用すべきと求めてきました。



保育園の一次募集が終了 待機児童の動向が心配です

新年度4月からの認可保育園第一次入園申し込みが12月10日(木)まで行われました。

窓口は、大変混み合いました。状況は、後日お知らせしたいと思います。また、年度途中で申し込まれて待っている方も少なくありません。

年度途中の保育園入園待ち状況(10月1日現在)

0才児 84人・1才児 27人・2才児 16人

3才児 0 ・4才児 1人・5才児 0

合計 128人

今年の場合も、新たな待機児童がどのくらい出るか心配です。「子ども手当より、保育園を先につくって」という声も多く聞きます。やはり、安心して子育てできる認可保育園の整備は、区政の緊急課題ではないでしょうか。



雇用からくらし、福祉… お気軽にご相談ください

最悪の雇用情勢、中小企業の単価切り下げや資金繰り悪化など深刻な事態が広がっています。医療、介護も深刻です。日本共産党区議団・横山区議は、法律等の専門家、医療・福祉関係者とも連携して相談活動を行っています。

電話 3895-0504 (横山事務所)
不在時は留守電に伝言を